

募金主要目的

1. 記念誌作成・歴史編纂
2. 教育・研究環境の整備
3. 30周年記念事業（基調講演など）

2016年10月8日（土）に創立30周年記念式典を挙げていただきます。



日本赤十字看護大学創立30周年記念  
式典・講演会・懇親会のご案内

日 時：平成28年10月8日（土）13：30～17：30  
場 所：日本赤十字看護大学 広尾ホール

- 第一部 式典：13：30～14：15  
 第二部 講演・リレーメッセージ：14：20～15：50  
 ・昭和女子大学 理事長 板東 真理子 先生  
 ・第1～30回卒業生・在学生30人によるリレーメッセージ  
 第三部 懇親会（会費制）：16：00～17：30  
 ・会場 日本赤十字看護大学 学生食堂  
 ・会費 3,000円

※参加ご希望の方は大学ホームページをご覧ください。  
<https://www.redcross.ac.jp/>

※30周年記念事業に関するお問い合わせは下記まで  
 日本赤十字看護大学 30周年記念事業事務局  
 電 話 03-3409-0595  
 F A X 03-3409-0589

平成28年度学年暦

事 項	月・日	備 考
学年開始	4月1日（金）	
入学式	4月1日（金）	
ガイダンス	4月4日（月）～4月8日（金）	健診を含めた日程
健康診断	4月8日（金）	
前期授業開始	4月11日（月）	
奨学金・進路説明会	4月21日（木）	午前（1・2年生）〔休講〕 午後（1・2・3・4年生）〔休講〕
祝日授業実施（昭和の日）	4月29日（金）	通常授業実施
日本赤十字社創立記念日	5月1日（日）	
臨時休業	5月2日（月）	
祝日授業実施（海の日）	7月18日（月）	通常授業実施
定期試験期間（前期）	7月27日（水）～8月2日（火） 7月25日（月）～7月29日（金） 6月27日（月）～7月1日（金） 6月6日（月）～6月9日（木）	1年生・編入3年生 2年生 3年生 4年生（「公衆衛生看護学」履修者除く）
夏季休暇	8月4日（木）～9月14日（水） 7月30日（土）～8月19日（金） 7月27日（水）～9月14日（水） 8月4日（木）～8月26日（金）	1年生・編入3年生 2年生 3年生 4年生
後期授業開始	9月26日（月） 10月11日（火） 10月17日（月） 10月11日（火）	1年生・編入3年生 2年生 3年生 4年生
大学祭	11月12日（土）	準備：前日（11/11）〔午後休講〕
防災訓練 冬季休暇	11月29日（火） 12月28日（水）～1月3日（火）	
定期試験期間（後期）	2月6日（月）～2月10日（金） 1月31日（火）～2月9日（木） 1月24日（火）～1月30日（月） 1月10日（火）～1月13日（金） 1月30日（月）～2月3日（金）	1年生 2年生 3年生・編入3年生 4年生
卒業式	3月15日（水）	
春季休暇	3月11日（土）～3月31日（金）	1年生・2年生・3年生・編入3年生
学年終了	3月31日（金）	

日本赤十字看護大学 発行日 2016年3月 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3  
 保護者会報(第7号) 発行者 日本赤十字看護大学 日本赤十字看護大学広尾キャンパス内  
 保護者会 保護者会事務局（月曜日・水曜日 10：00-15：00）  
 [Tel] 03-3409-1757 [E-mail] hogosyaj@redcross.ac.jp

# 日本赤十字看護大学保護者会報(第7号)2016年3月

## 保護者会の支援について

本保護者会は、日本赤十字看護大学に在籍する学部学生全員の保護者（父母等）を会員として、「大学と会員の連携を密にし、学生の課外活動や学生生活等を支援すること」を目的としています。平成21年6月に設立され、毎年の総会において役員を選出と事業計画、予算を決定し、会員の皆様の総意をもって運営しています。

保護者の皆様には、入学と同時に本会に入会していただき、年間20,000円の会費を納入していただき、その保護者会費を原資として、学生生活をより有意義に元気に楽しく過ごしていただけるよう、各種事業を行っています。また、保護者と教職員による懇談会や保護者同士による懇親なども図っています。

今回はその各種事業についてご報告します。

### 1. 災害備蓄への支援

近年多発する自然災害に備え、学生用災害備蓄品の支援を行っています。学部生全員の3日分の食糧と水を整備し、期限の切れたものは順次入れ替えています。

#### <防災避難訓練>

大学の校舎は耐震化されており、地震による建物崩壊の危険性は低いと考えられます。しかし、引き続き強い余震が発生した場合には壁などが落下する危険や、火災などの二次災害も考えられます。大学では、これらを想定し、より安全な場所に素早く移動し集合する全学生対象の避難行動訓練を毎年行っています。

また、実習中、登下校時や休日に大きな地震が起こった場合は、学生の安否確認が必要です。大学では、各学年、年1回以上、緊急安否確認システムによる訓練を行っています。



### 2. 学園祭・キャロリングへの補助

大学祭（クロー・ルーージュ祭）は、例年6月に開催していましたが、この時期ですと新入生は大学の様子がわからないうちに大学祭の準備となるということで、開催時期について自治会学生と大学で検討を行い、平成27年度から11月に開催すること、これにより、1年生から「主体的に積極的にまた楽しく大学祭に係ることができるようになった。」とのことでした。

また、東京都赤十字血液センターによる献血、実習施設による小物販売の他、今年は、日本赤十字社医療センターから糖尿病の予防と治療に関する講演とトン汁販売、聖心女子大学の学生が作成した9ヶ国語で覚える医学図典の販売等、地域団体も参加しての大学祭は、幅広い年齢層の方々のご来場があり、盛況であったとのことでした。

また、12月クリスマスシーズンに学生有志団体で行われるキャロリングは、日本赤十字社医療センターの協力により、病棟、小児保健部、乳児院等をまわり、学生との交流がさかんに行われています。

#### 🎵キャロリングを終えて🎵

学部2年生 岡田 彩良

今年は学園祭が11月に開催されたこともありギリギリの状態でのスタートでした。

そのため今年のキャロリングはとにかく余裕がなく、私は常に誰かに助けてもらいながら代表の業務をすることとなりました。

キャロリング委員は施設との打ち合わせや歌の練習など学生主体で活動しており、委員全員で役割分担をし、各自で自分の仕事をこなしキャロリングを作り上げていきます。私は代表の仕事に追われ自分一人が忙しいような気になっていましたが、当然そうではありませんでした。少ない時間の中委員全員が自分の役割を全うしてくれたお陰で今年のキャロリングは無事成功することができたのです。私一人の力でできたことなどありませんでした。キャロリングの成功を祈りご助力下さったすべての方々へ感謝致しますとともに、来年のキャロリングもまたより良いものであることを願っております。

### 3. 国家試験対策支援

看護師・保健師国家試験に関して、対策講座・対策模擬試験費用の一部を支援しています。看護師・保健師国家試験は毎年2月中旬に実施され、学生生活・就職指導委員の教員の指導のもと、試験対策講座・模擬試験は年数回



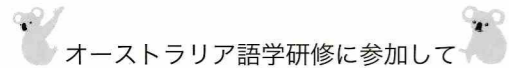
実施されています。

#### 4. 保護者会奨学金の給付

経済的理由のため修学が困難な学生に対しての奨学金給付及び海外留学・研修の助成として奨学金を給付しています。平成25年度から27年度の採用（給付）状況は表1のとおりとなっています。

保護者会奨学金の応募および採用状況について

	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	応募者数 (人数)	採用者数 (人数)	総給付額 (円)	応募者数 (人数)	採用者数 (人数)	総給付額 (円)	応募者数 (人数)	採用者数 (人数)	総給付額 (円)
学生奨学金	45	17	3,500,000	25	14	3,400,000	20	15	3,300,000
海外奨学金	2	1	50,000	8	1	100,000	5	3	150,000



#### オーストラリア語学研修に参加して

学部1年生 原 千翔

8/1から約3週間、オーストラリアのメルボルンに語学研修に行きました。入学前から1度は留学してみたいとおもっていたため、今回語学研修に参加させていただきました。

最初に説明会があった時はまだまだだと思っていたのが、7月末にはテスト週間、その次の日に実習、そして8/1に出発と思ったよりも忙しかったことが今でも記憶に残っています。

オーストラリアに行くのは今回が初めてであり、訛りがあるのできちんと聞き取れるか、また南半球のため季節が真逆で体調を壊してしまうのではないかと、今まで考えたことなかった水制限に慣れることはできるのかと不安に思っていたのですが、その不安は現地についたらすっかり忘れていました。

私のホームステイ先は、ホストマザーと犬が暮らしているお家でした。目の前はブライトンビーチで日の出や日没がとても綺麗で、優しいホストマザーでした。休日にはホストマザーの娘さん達とご飯を食べたり、野生のカンガルーを見に車で連れて行ってくれました。まさか野生のカンガルーを見ることができると思っていなかったのが本当によい思い出を作ることができました。

モナッシュ大学での授業はレベル別に合わせた少人数のクラスで、クラスは事前のテストで分かれていました。私のクラスでは特に中国人が8割を占め、他にもベトナム人、サウジアラビア人がいました。授業は、15分の休憩を1回挟んで、1日に4時間あり、私は、8時30分から12時45分まででした。朝が苦手な私にとって毎朝6時、日本時間では5時に起きるのはとても大変でしたがすぐに慣れました。

授業中には、毎回フォリオと呼ばれるテストがあり、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングと偏らないようになっていました。日本の受身的な授業というよりは、それぞれが意見を話し、授業中に理解を深めるために移民博物館に行ったりもしました。休憩時間や授業中にクラスのみならず自国の挨拶や、日本が好きの人が多かったため、日本の映画など、興味のある話題を話すことで仲良くなることができました。

授業は、午前中で終わるため、午後はショッピングに行ったり、メルボルンの有名な聖堂を見に行ったり、ご飯を食べに行ったりと当初の目的でもある文化にも触れることができました。

日本では感じることでできない体験をオーストラリアで3週間過ごすことができ、多くの人と出会い、話すことで、文化の違いも知ることができました。本当に充実した3週間を過ごすことができ、着いたときには長いと思っていた語学研修も帰るときには早く感じ時間の流れの速さを実感しました。このような機会を与えてくれた家族や保護者会海外奨学金を受給できたことに感謝しています。ありがとうございました。



#### 5. 図書整備支援

大学図書館は看護・医学系図書を中心に14万冊、雑誌1,100種類、視聴覚資料3,900点所蔵しており、看護系大学図書館の中では多くの資料を所蔵しています。また年間利用者数は約4万7千人で、特に実習時期、試験時期等には多くの学生に利用され、平日8時50分から20時、土曜日10時から17時30分まで年間265日開館しております。

図書館には学生のTBCクラブという有志グループがあり、図書館運営委員会の教職員と一緒に、図書館資料の

企画展示、選書ツアー等の図書館行事から学生に図書館を身近に感じてもらうという活動、また教育・研究活動の支援という観点から、国際連合大学、聖心女子大学、実践女子大学・短期大学、青山学院大学、青山学院女子短期大学、東京慈恵医科大学、杏林大学医学図書館との図書館相互協力等も行っています。

保護者会からは例年50万円寄付をしており、学生が希望としているリクエスト書籍を中心に、社会学分野、心理学分野等、看護と隣接した分野のシリーズ書籍の購入、またここ数年において、図書館での情報検索の一貫として、iPadやノートパソコンといった電子機器等の導入に支援活動の費用となっています。



#### 6. 予防接種支援

看護実習病院等での感染予防のため、B型肝炎ワクチン接種およびインフルエンザワクチン接種費用を支援しています。

#### 7. 保護者との情報交流

保護者会会報、ホームページ等による情報の共有を行っています。

<https://www.redcross.ac.jp/guardian>

この機会に、是非皆様も保護者会の扉をあけてみてはいかがでしょうか。

## 役員からメッセージ

役員になって

副会長：田中 幹子

国家試験対策の模試や講座の開設、看護学生として不可欠な予防接種の支援等、入学式後の説明会で保護者会活動の重要性がよくわかりました。

役員となり大学を訪れることは、教職員の方々の熱心かつ親身なご指導は元より、充実した教育課程や最新設備の素晴らしさを肌で感じる良い機会となりました。

人道の実現に向け世界で活躍する看護師がより多く生まれるよう、微力ながら今後も協力させていただきたいと存じます。

## 保護者会事務局から

- ・平成28年度総会は、6月を予定しております。日程が確定しましたら、会員の皆様にはご連絡させていただきます。
- ・平成27年度 卒業式・学位授与式  
平成27年度卒業式・学位授与式は3月18日（金）に実施されました。今年度は卒業生142名、大学院修了生46名でした。
- ・保護者懇談会（大学主催）  
10月10日（土）119名の保護者が出席され、高田学長からの挨拶、大学からの全体説明、学年別懇談会、希望された保護者の方との個別相談会が行われました。  
2年生の保護者からは看護技術論実習（5週間）は心身ともに厳しい様子であったが子どもが成長していく過程を肌で感じられた等、教職員一同、うれしさと同時に身が引き締まる思いがしました。
- ・被災学生奨学支援（大学から）  
日赤6看護大学と学園が資金を拠出した原資による奨学制度により、今年度本学学生2名に、2,120,000円給付されました。
- ・大学オープンキャンパス（大学主催）  
今年度は、7～11月に4回のオープンキャンパスを開催し、約1,700名の高校生他受験生（昨年度は1,500名）とその保護者約1,480名が来学しました。また塾・予備校等の主催の外部ガイダンス、赤十字施設でのガイダンスも実施しました。今年度から、HP、Facebookに加えて、LINEを使って登録者に送り、行事等のお知らせも配信されています。
- ・30周年記念事業（大学から）  
1986年（昭和61年）に四年制の大学となり、今年、創立30周年を迎えました。歴史を遡りますと看護婦養成学校、専門学校、短期大学となり、2015年は日本赤十字社看護師養成125年という節目の年になりました。  
2016年3月における卒業生は9,200名余となりました。この間多大なるご支援をいただきましたこと、あらためて厚く御礼申し上げます。  
大学創立30周年を機に、大学から以下の協力依頼とご案内がきておりますのでご覧ください。大学の発展、学生の学びの環境・整備等をはかるため、皆様からのご寄付をお願いしております。今後とも何卒、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。既にご寄付をいただいた皆様には誌面をおかりして心より厚く感謝申し上げます。